

つぶやき



エネルギーをためて・・・

三重県教職員組合 木田 繁彦

なにかをがんばるには、エネルギーが要ります。だれでも、周りの人たちとのかかわりのなかでエネルギーをもらって、毎日がんばれているのだと思います。そのエネルギーを少しずつ、少しずつためていくタイプの人もいると思います。

日ごろから登校しづらい、ある生徒のことです。時おり学校へ姿を見せ、少しずつためたエネルギーを一気につかってがんばります。

そしてまた、少しずつためていきます。夏休みのことです。8月も半ばをすぎ、夏休みの宿題が心にのしかかってきました。でも、「たくさん宿題が残ってる・・・」とあってしまい、とりくむエネルギーがわきません(わたしにも身に覚えがありすぎです)。

「じゃあ、学校に来て、クラブの時間を使って毎日少しずつ宿題をすすめてもいいよ。家で宿題してもいいけど、どうする？」

夏休みのはじめに、保護者・担任の教育相談で、「子ども自身に決めさせる」というスタンスが確認されていたことが効きました。結局その生徒は家ですることを選択しましたが、少しずつ

宿題は消化されはじめ、8月のうちに宿題を終われる見通しがつきました。「自分で決めてとりくむ」というステップがクリアできたことを、保護者・担任とともに喜びました。

その後、保護者・担任と生徒のようすを話しあうなかで「これからも自分で決めていけたらいいですね。小さなハードルを少しずつ上げていけそうですね」、ときどき小休止している日も「きょうは充電ですね。エネルギーをためてるんですね」と、プラスの言葉が多くなりました。

わたし自身のことをふりかえってみても、大きな課題を目の前にしたとき、億劫な気持ちになることが多いです。そんなときは周りの人たちに相談したり、元気の出る言葉や救われる一言にエネルギーをもらって、なんとか小さなステップを積み重ねてこられたように思います。

生徒たちやその保護者がエネルギーをためられるように、プラスの言葉で支援していけたらいいなと思います。そのためにも、自分自身も「スモールステップ」を心がけ、いつも心に余裕を持ちたいものだと思います。